

～長井彩子プロフィール～

年齢	出来事	当時感じたこと	今（33歳）思えば・・・
11歳 小5	マンガ家になりたいと心から思う。初めて自分の意志でこれになりたいと感じた。でもそんなので食べていけないと母や身近な人に言われる。そこであっさり諦めてしまう。	自分がやりたいものを否定されたことに傷ついた。	そこで諦めるくらいならその程度の気持ちだったのだろう。でもその時の夢は今の教材制作において活用できている。
16～18歳 高校生	同じ苗字、同じテニス部、ペアの子が学年1輝いているような子だった。その子と親友だった。 (↑勉強1位、性格よし、顔よし、人気者、いつもニコニコ楽しそう) 自分は勉強がうまくいかない。周りは頭のいい子が増え自分のレベルが低く感じていた。	親友や友人に対する、劣等感、ひがみ、羨ましさ、悔しさ。でもその親友の事は大好き。	苦しむことは、悪い事ではない。その苦しみを、もっと自分を好きになるための学びに変えればよかった。
	進路を決める際、いろんな職業を調べ給料が良いと聞いて看護師を目指そうとするも仕事内容を考えると自分にはできないと思い、1日で断念。食べることが好きだということと、自分や家族の健康も守れる、つまり仕事内容が私生活にも役に立つと考えて管理栄養士を目指すことにした。身近な身内である従妹が管理栄養士だったということもきっかけ。	小学生のころと違うのは、高い収入を得たいという部分が加わっていること。成績が良い人ほど高い収入を得ることができるのだろうという考え。	目線は自分のためでしかなかった。でもスタートはそれでいいのでは？最初から世のため人のためという目線が持てるほど育っていなかった。 成績と収入が比例する部分はあるが、ビジネスにおいてはあまり関係ない。
19～22歳 大学生	第一希望、第二希望の大学に落ち、第三希望の大学へ進学。親友や周りの友人の多くは第一希望の大学へ。	かなりのショック、劣等感な毎日。中でも大事な友人や先生に出会え、この大学に来てよかったと思えるようになった。	周りからみれば失敗であっても、失敗にするのか成功にするのかは、その人次第。
	19歳の時に16歳から付き合っていた彼氏にフラれ、かなり落ち込む。だが、たった2か月後に新しい彼氏ができる。(弱ったところに手を差し伸べられてコロリと(笑))	さいあく～、むかつく～。でも、自分の性格や態度を振り返り、フラれて当然だと思え過剰に反省する。	とても良い経験をした。人をつくるのは、人だということ。恋愛における学びは多い。悪かった部分を修正する気持ちは大事だが、「自分はダメ人間だ」と、良い部分まで潰してしまうのもまた、甘え。
	21歳(大学3年生)の時に妊娠。学生結婚(相手は社会人)。	命を守りたい、殺したくない、それだけ。周りに感謝。	(長男をみて)生んで良かった～。感謝を学んだ。
	22歳(大学4年生)の春に出産。長門から小倉へ通学する。休学せずに卒論も終えて卒業。時間が無い中で管理栄養士国家試験の勉強をし、1発合格が叶う。わくわく勉強法が誕生する。	どんな勉強も、わくわく勉強法で攻略できる。大学入試の時の失敗の勉強方法をここで生かすことができた。	失敗は成功への材料になるということを学ぶ。無駄な経験なんて1つも無い。無駄にするかどうかは自分次第。なんでも「ネタ」になるぞ!
	管理栄養士国家試験の勉強をするときにイラスト入りゴロ合わせを多く誕生させる。これを出版社に送ると1社が反応してくれたが、断られる。	この失敗と成功の体験、わくわく勉強法やゴロ合わせを何かに生かしたいと漠然と感じる。でも出版社に頼るなどどこかに持ちかけるのは難しい。	今の仕事の原点が生まれた瞬間。今の教材にそのまま使っている部分もあり。出版社などの媒体に頼らずに自力でやるのが手っ取り早いという考えもここで得る。

23歳 専業主婦	岐阜県で専業主婦。慣れない土地、初めての主婦業、子育てに追われる日々。たくさんのママ友に助けをもらう。一方周りの大学の友達は新しい仕事に奮闘する日々。取り残された感を感じる。	主婦業大変。毎日献立を考えるのが大変。と思いつつ、この経験から主婦マニュアルとかできないかな？と創作志向が生まれ始める。	人生においてたった7か月の専業主婦業。ここで感じたことは、今のお客さんへの「気持ちに寄り添ったサポート」に生きている。
23歳 保育園栄養士	保育園で管理栄養士を募集しているのを見つけ、採用してもらえる。しかしもらった辞令には、「調理員」と記してあるのをみて、自分は調理員として就職したということを知る。2年で辞めようとする。	管理栄養士という資格は、軽く見られているんだと感じた。	管理栄養士の地位向上を目指すきっかけになる。
24歳 保育園栄養士	保育士の資格をわくわく勉強法で取る。3ヶ月の勉強で10科目受かろうとするが1科目落とし、1年後にもう1科目と実技試験を合格。	わくわく勉強法なら、時間が無い中でも効率的に勉強することができるかと改めて確認できた。	10科目1発合格できなかった経験で、わくわく勉強法＝魔法の勉強方法ではなく上手に努力するための方法だと知る。
25歳 保育園栄養士 妊娠	仕事に慣れてきて楽しめるようになり、入社時の2年で辞めるという気持ち薄れてきてこのままでもいいのかなと感じるようになるが、次男を妊娠したことで退職することを決める。	今のままでも楽しめるという事と、もっと自分が生まれてきた意味となる仕事をしたいという欲とを天秤にかけた。	この時に決断が無ければ今は無い。今を楽しむのも大事だが、さらに上を見上げた食欲さも大事。
26歳 出産、起業 ↓ 31歳 法人化	<p>主人が病気になり、仕事を辞めるかもしれないという状況になる。妊婦だから仕事に就くことはできない。自分で何かパソコンを使えることは無いかと考えてみる。それなら自分のやりたいことが良いと思う。</p> <p>管理栄養士国家試験対策講座をやってみようと思ったのは</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が試験勉強をした時は楽しい教材は無かった。楽しい教材は求められているはずだと思った。 自分は勉強方法が分からずに高校生の時に苦しんだ。教材だけでなく勉強方法を教える講座は必要とされていると思った。 自分がまささらな知識になり、勉強しなおすことができる。 わからない→わかった！の体験を教材に活かすことができる。 子どもが生まれても、家に居ながら仕事ができる。子どもにやさしい働き方ができる。 <p>まずはパスワード付きのホームページをつくることに苦労するが、助けてもらいクリア。教材ができあがる前に開業し、毎日教材をつくり続ける日々。</p>	「自分がやっていること＝起業」という意識は無い。退職金10万円はホームページを制作するための講座に使い、資金ゼロ。突っ走った。	<p>「国家試験の時の知識を忘れている＝国家試験対策の仕事なんてできない」これが普通の発想だとすると、その逆の発想。「できない」は、価値になる。</p> <p>「家族が路頭に迷うかもしれない＝危機」これが普通の発想だとすると、その逆の発想。ピンチをチャンスに変えるのはその人次第！</p> <p>「お金が無い＝起業できない」これが普通の発想だとすると、その逆の発想。お金が無くてもできることを考えることでお金の頼らない思考が育つ！</p>